

COVID-19影響下での新人教育の取り組みに対する満足度調査

南淡路病院 リハビリテーション科 苅部直寿

キーワード: 教育、フィードバック、満足度

【序論・目的】

当グループでは、毎年新人による症例報告会を実施している。しかし、2019年度以降はCOVID-19により対面形式の開催は中止されWEB発表となったが、本来の十分なフィードバックは受けられず、貴重な学習機会が失われた。そこでOT推進チームにて、希望する新人OTに対し、チームメンバーがアドバイスシートでフィードバックを行った。今回、本取り組みの満足度調査を実施した。その結果より、本取り組みの質と満足度の向上、グループOT全体の教育・臨床の質向上を目的に本研究に取り組んだ。

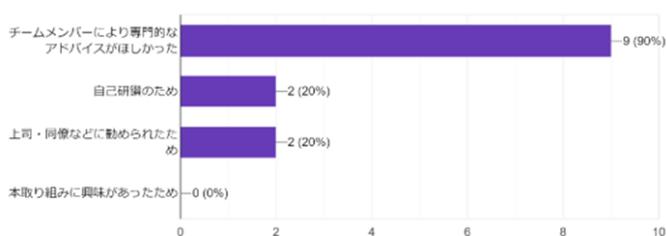
【方法】

アンケートはGoogleフォームを用いて、匿名で選択肢と自由記述方式で回答を得た。対象は応募のあった新人OT16名と所属するリハビリテーション科責任者10名とした。

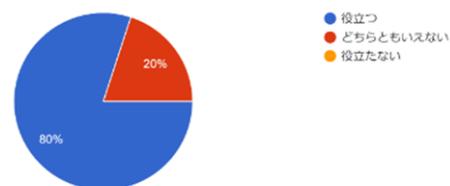
【結果】

アンケート回収率は57.6%(15/26名)であった。結果の一部を以下に示す。

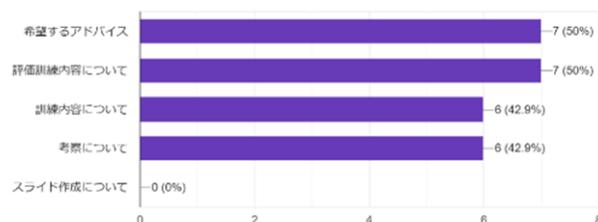
問2. 依頼者（2021年度新人OT）のみ回答ください。学術委員会のアドバイス...
10件の回答



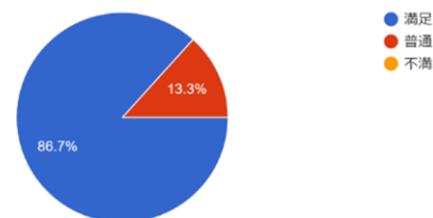
問5. 望むアドバイスをより焦点化するため、「希望するアドバイス」を設定しました。内容は役立ちそうですか？
15件の回答



※問4. で「役立つ」と回答された方へ質問です。アドバイスシートで役立った項目は何ですか？
14件の回答



問7. 本取り組みに対する全体的な満足度はいかがでしたか？
15件の回答



【考察】

本取り組みの満足度は前年度と同様に高く、特に「希望するアドバイス」が役立つことがわかった。竹内謙彰(2020)は、「高いモチベーションのよって来るところはわかりやすい。何を学ぶかは本人の選択によるからである」¹⁾と述べている。希望するアドバイスは、学びたいことを応募者が選択し、フィードバックが得られるため、学びへのモチベーションがより高まり、本取り組みへの満足度向上につながったと考える。藤田聡行(2017)は、「ステップアップの早い新人には、様々な経験年数を持つ指導者がバランスよくかかわっている」²⁾と述べている。チームメンバーが幅広い経験年数で構成された結果と考える。

フィードバック内容の更なる満足度向上のため、アドバイスシートは、「役立った」と多く回答した項目に絞り、ほしいアドバイスを中心に提供する。また、返信期間の満足度に関しては比較的低かったため、期日の短縮など今後も検討を重ね、グループに所属するOTの満足度をさらに高めていきたい。

【文献】

- 1)竹内謙彰, :主体的学びが成立するための条件の探求.立命館産業社会論集.2020:15
- 2)藤田聡行, 他:OJTによる新人教育を通じたチームビルディングの現状—OJTシートの活用から新人教育に与える影響—.理学療法科学.2017,32:803-808